

# 休業状態の温泉施設に 再び灯をともした女性



## 中三依温泉「男鹿の湯」 代表：水晶沙紀さん

卒業後は、埼玉県内の温浴施設運営会社へ入社し、経営のノウハウを学びました。また、温泉ソムリエアンバサダー、温泉入浴指導員の資格と温泉ライターの肩書きを持つています。

### 「どうして三依に？」

ここには、心洗われる川や満天の星があります。空気もきれいで、人も温かい。「おもなし」ができると思いました。

男鹿の湯は、野岩鉄道会津鬼怒川線「中三依温泉駅」から徒歩4分。泉質は、カルシウム・ナトリウム硫酸塩泉。切り傷の湯ともいわれます。

また、男鹿の湯の隣には、宿泊できるケビンや屋外調理施設（バーベキュー場）の他、そば打ち体験道場もあります。

「湯上りラウンジ」には、ころ寝ソファーやライブラリー（図

施設を持ちたい」と千葉県から三依に移住し、経営再建に奮闘中の水晶さんは、筋金入りの温泉好き。大学時代、温泉施設でアルバイトをしながら国内外の温泉巡りに明け暮れ、これまで1,000箇所以上の温泉を訪ねました。

### ☆インタビューを終えて…

地元の人や友人など、周りの人々に支えられていることに感謝しつつ、たくさん的人にここでくつろいでもらいたいですね。将来的には、現代病で苦しむ人のために、ゆっくり湯治ができる施設を作りたいです。

### 紹介したい人、サークルを募集しています

と次々とアイデアを出す水晶さん。「いらっしゃいませや『売店』などの看板も水晶さんの手作りです。あどけない表情の裏には、三依への愛と温泉に対する情熱があふれています。



男鹿の湯(日光市中三依423)  
営業時間：午前10時～午後8時  
入館料：大人600円・小人300円  
(水曜日休館) ☎79-0262  
<http://www.nakamiyori.com>

連絡先 よびくわしくは  
秘書広報課 広報広聴係

☎(2)5135